

流れ流され

E_n D E_n DE_n D
流れ流され気付いた時はE_n D
思いもよらぬところ^Dに辿り着くE_n D
今立っているこの場所^Dは何^DとE_n D
きっと何かの縁^DがあったのだろうG D
どうして僕^Gはここに^DいるんだろうかなどE_n G D
その理由^Gを考える必要^DなんておそれたくないG D
それはつまり全て「運命」^Dと^GいわれているE_n G D
必然^{E_n}的な何か^Gの存在^Dにいた^Dということ流れ流され^Dえれも間違^Dいでないだってそれが正しい^Dこともあるから今立っているこの場所^Dにも^Dそうきっと素晴らしい^Dことあるに違^Dいないこれから僕^Gはここで^Dどうしたらいい^Dのかと思^Gい^Dあ^Gげ^Dね^Gる^Dことある^Dかもしれない^Dけれど流れに逆ら^Gわず^D流^Dされ^Dて^Gゆ^Dく生き甲斐^Gは^D気持ち^Gの持ち方^Dで作^Dられて^Gゆく^Dもの何か^Gも思い通り^Dなら^Dない^Dだから^Dこそ迷^Gいや^D気づき^Gに出会^Dえる^D面白^Dさある^Dように踏み外^Gした^Dところ^D本当^Dの自分^Gの場所偶然^{E_n}にも^D出会^Dえる^Dことある^Dかもしれない^Dから